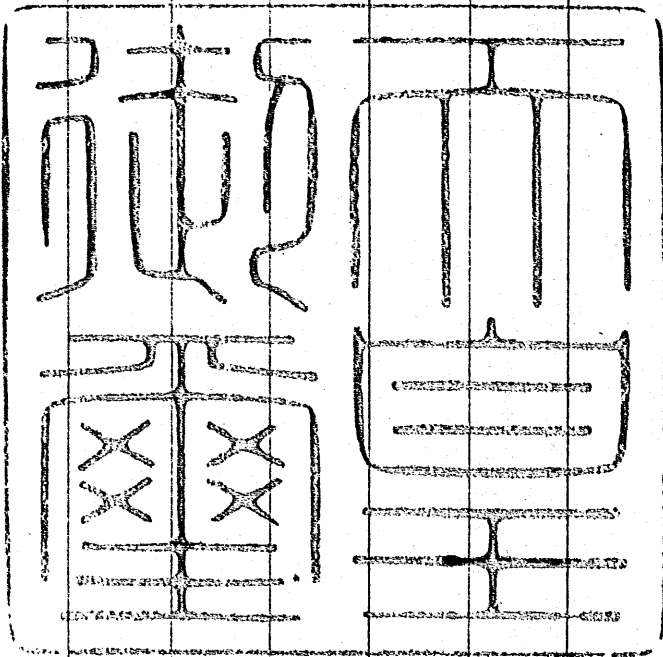


勅令第二百四十六号

朕海軍經理學校條例改正ノ件ヲ裁可シ
茲ニ之ヲ公布セシム

陛下



明治四十三年五月二十八日

内閣總理大臣侯爵桂 太郎
海軍大臣男爵齋藤 實

勅令第二百四十六號

海軍經理學校條例

第一條 海軍經理學校ハ海軍主計官及
海軍少主計候補生ニ必要ノ學科ヲ教
授シ兼テ職務ヲ練習セシメ、海軍主計
官ト爲スヘキ生徒ヲ教育シ又海軍上
等筆記海軍特修兵タルヘキ海軍筆記
厨宰主厨及海軍筆記ト爲スヘキ卒ニ
必要ノ學科ヲ教授スル所トス

第二條 海軍經理學校ニ左ノ職員ヲ置

ク

校長

教官

監事

軍醫長

主計長

第三條 校長ハ海軍省經理局長ニ隸シ

軍紀風紀ヲ維持シ校務ヲ總理ス

第四條 教官ハ校長ノ命ヲ承ケ教授ヲ

擔任ス

第五條 監事ハ校長ノ命ヲ承ケ學生生

徒及練習生ヲ監督シ校内ノ定則ヲ維

持ス

第六條 軍醫長ハ校長ノ命ヲ承ケ醫務

及衛生ニ関スルコトヲ掌ル

第七條 主計長ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務

及會計給與ニ関スルコトヲ掌ル

第八條 海軍經理學校ニ第二條ニ掲ク

ル職員ノ外海軍兵曹長同相當官准士

官下士卒及判任文官ヲ置キ各上官ノ

命ヲ承ケ服務セシム

第九條 海軍經理學校ニ於テ修習スル
准士官以上及候補生ヲ海軍經理學校
學生ト稱シ下士卒ヲ海軍經理學校練
習生ト稱ス

第十條 海軍經理學校學生ハ之ヲ左ノ
四種ニ區別ス

- 一 甲種學生
- 二 乙種學生
- 三 丙種學生

四 選科學生

第十一條 甲種學生ニハ樞要ノ職員々
ル素養ヲ與フル爲必要ナル會計經理
ニ關スル高等ノ學術ヲ教授ス

第十二條 乙種學生ニハ會計經理其ノ
他初級海軍主計官ニ必要ナル學科ヲ
教授ス

第十三條 丙種學生ニハ會計經理及庶
務ニ關スル必要ナル知識ヲ修得セシ
ム

第十四條 選科學生ニハ各自ノ選擇スル學術又ハ命セラレタル學術ヲ修メシム

第十五條 甲種學生ハ海軍主計官ノ中ニ就キ海軍大臣之ヲ命ス

第十六條 乙種學生ハ新ニ採用シタル海軍中少主計及少主計候補生ニ海軍大臣之ヲ命ス

第十七條 丙種學生ハ海軍上等筆記ニシテ志願スル者ノ中ニ就キ又ハ必要

ト認ムル者ニ在籍鎮守府司令長官之ヲ命ス

第十八條 選科學生ハ海軍主計監及實役停年三年以上ヲ經タル海軍大主計ニシテ志願スル者ノ中ニ就キ海軍大臣之ヲ命ス

第十九條 海軍經理學校生徒ハ年齡十六年以上二十三年以下ニシテ海軍主計官タラムコトヲ志願スル者ニ就キ検査ヲ行ヒ所要ノ人員ヲ採用ス

第二十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者

ハ生徒ニ採用セス

一 有妻ノ者

二 禁錮以上ノ刑ニ處ヒラレタル者

又ハ賭博犯ノ處分ヲ受ケタル者

三 復權ヲ得サル家資分散者破産者

又ハ其ノ相續人

四 身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辨償

ヲ終ハサル者又ハ其ノ相續人

五 品行又ハ家庭不良ナルカ爲將來

海軍主計官タルノ體面ヲ保ツ能

ハスト認ムル者

第二十一條 生徒ノ召募及檢査格例ハ

毎年海軍大臣之ヲ告示ス

第二十二條 生徒ハ入校ノ日ヨリ海軍

兵籍ニ編入ス

第二十三條 生徒ノ學年ハ三年トス但

シ戰時又ハ事變ニ際シテハ之ヲ短縮

スルコトヲ得

第二十四條 生徒ハ情願ヲ以テ退校ス

ルコトヲ得ス

第二十五條 生徒ニシテ左ノ各號ノ一

ニ該當スル者ハ之ヲ退校セシム

一 海軍主計官タルヘキ器量ニ乏シキ者

二 品行不良又ハ怠惰ニシテ訓戒ヲ加フルモ改悛セサル者

三 試験ノ成績不良ニシテ卒業ノ見込ナキ者

四 傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ前途

役務ニ堪ヘ難シト認ムル者

第二十六條 校長ハ學生中不適當ト認

ムル者又ハ生徒中前條各號ノ一ニ該

當スト認ムル者アルトキハ之ヲ海軍

省經理局長ニ稟申ス海軍省經理局長

至當ト認ムルトキハ生徒ニ在リテハ

之ニ退校ヲ命シ又學生中甲種學生乙

種學生及選科學生ニ在リテハ之ヲ海

軍大臣ニ具申シ丙種學生ニ在リテハ

之ヲ在籍鎮守府司令長官ニ移牒ス海

軍大臣又ハ鎮守府司令長官ハ之ニ退
學ヲ命スルコトヲ得

第二十七條 甲種學生、乙種學生又ハ丙
種學生卒業シタルトキハ之ニ修業證
書、生徒卒業シタルトキハ之ニ卒業證
書ヲ授與ス

第二十八條 海軍大臣ハ戰時又ハ事變
ニ際シ必要ト認ムルトキハ學生ヲ退
學セシムルコトヲ得

第二十九條 海軍經理學校練習生ニ關

スル事項ハ海軍大臣之ヲ定ム

附則

本令ハ明治四十三年六月一日ヨリ之ヲ
施行ス